

平成20年度 事業報告書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

1. 概要

平成20年度事業計画に基づき、科学技術に関する調査・研究開発及び国際交流に対する助成事業を実施した。また、科学技術に関する普及啓発活動として科学技術セミナーを開催するとともに、ホームページにより業務及び財務等に関する情報公開を行った。

2. 科学技術に関する調査・研究開発に対する助成事業

工業製品などの科学技術開発において、その成果がわが国及び地域の経済発展に寄与すると認められる調査・研究開発について必要な研究開発資金の全額又はその一部を助成する事業である。平成20年度助成事業においては対象者に助成金を交付したほか、平成21年度助成対象者の選定を行った。

(1) 平成20年度調査・研究開発助成対象者に対する助成金の交付について

応募件数：30件 助成件数：5件 助成総額：820万円

実施課題名	申請者	交付額
災害時の命を護る蓄光式懐中電灯	エス・ジー・ケイ有限会社 代表取締役 鈴木建一	200万円
トランス脂肪酸迅速解析装置の開発	大阪大学大学院工学研究科 教授 栗津邦男	150万円
魚介類に含まれる炭素・硫黄安定同位体比を用いた産地判別の開発	石巻専修大学理工学部 助教 鈴木英勝	150万円
可動部のない熱風送風機による冷凍真空乾燥促進システムの研究開発	神戸大学大学院工学研究科 教授 鳶原道久	150万円
超微細塑性加工法を利用した高能率な微細加工プロセスの開発	東京工業大学理工学研究科 准教授 吉野雅彦	170万円

(2) 平成21年度調査・研究開発助成対象者の募集について

募集期間：平成20年8月1日～平成20年11月1日

募集方法：関係団体、大学、企業を中心に応募要領の送付、ホームページによる募集を実施した。

(3) 平成21年度調査・研究開発助成対象者の選定について

平成21年度調査・研究開発助成対象者の選定については、平成20年11月～平成21年2月にかけて選考委員会において審査の結果、以下のとおり決定された。

応募件数：44件 決定件数：5件 助成予定総額：800万円

NO.	実施課題名／業績名	申請者	助成金額
研-07	オゾン化抗菌剤の開発	株式会社ERCテクノロジー マネージャー 田中 昭成	150万円
研-12	省エネを目指した流体継手の開発とその効果の検証	立命館大学 教授 大上 芳文	190万円
研-15	刺激により易解体可能な機能性粘着剤の開発	大阪府立産業技術総合研究所 研究員 舘 秀樹	150万円
研-17	下水汚泥から得られる高機能炭化材を利活用した有機溶剤ペーパー回収装置の開発	群馬県立群馬産業技術センター 鈴木 崇	150万円
研-26	Ni-free高窒素鋼線の高品位化熱処理プロセスの開発	福岡県工業技術センター 研究員 小野本 達郎	160万円

3. 科学技術に関する国際交流に対する助成事業

研究者、技術者が海外の大学又は試験研究機関等において、開発研究、調査研究又は国際研究集会等の参加に必要な資金の全額又はその一部を助成する。また国内での国際会議の開催に必要な資金の全額又はその一部を助成する事業である。平成20年度助成事業においては、対象者に助成金を交付したほか、平成21年度助成対象者の選定を行った。

(1) 平成20年度国際交流助成対象者に対する助成金の交付について

応募件数：11件 助成件数：2件 助成総額：65万円

区分	目的	申請者	交付額
	航空機産業において立地優位のない国を本国とするエンブラエル社が、いかにしてグローバル規模の競争優位を獲得してきたかを明らかにするため、同社と競合企業へのインタビュー調査を行なう。	早稲田大学商学部 助手 竹之内玲子	35万円
開催	第四回リスクベース工学国際ワークショップの開催	(社)未踏科学技術協会 特別研究員 八木 晃一	30万円

(2) 平成21年度国際交流助成対象者の募集について

募集期間：平成20年8月1日～平成20年11月1日

募集方法：関係団体、大学、企業を中心に応募要領の送付、ホームページによる募集を実施した。

(3) 平成21年度国際交流助成対象者の選定について

平成21年度国際交流助成対象者の選定については、平成20年11月～平成21年2月にかけて選考委員会において審査の結果、以下のとおり決定された。

応募件数：9件 助成件数：2件 助成予定総額：85万円

NO./区分	実施課題名／業績名	申請者	助成金額
国-02 (開催)	多目的森林管理に関する国際研究集会の開催	東京大学大学院 准教授 龍原 哲	45万円
国-05 (参加)	International Commission on Large Dams (ICOLD) 第23回大会(ブラジル・ブラジリア)における成果発表および会議参加	北海道大学 大学院工学研究科 准教授 福嶋 正巳	40万円

4. 平成20年度科学技術に関して優れた業績をあげた者に対する顕彰

先端的・独創的な研究開発に優れた功績をあげた企業者、研究者、技術者を表彰し、記念品を贈呈する事業である。平成20年度顕彰候補者の推薦は3件あったが、選考の結果、以下のとおり決定され、平成21年3月23日顕彰式を行った。

NO.	実施課題名／業績名	推薦者	副賞
記-01	放射線源から放出される粒子を用いた高信頼度での放射線計測方法の確立	独)放射線医学総合研究所 研究員 中村 秀仁	30万円

5. 科学技術に関する普及啓発活動

わが国の最先端科学技術等に関する科学技術セミナーを開催し、その普及に努める事業である。

(1) 講演会、セミナー、研修会等の開催については、以下のとおり実施した。

平成20年度科学技術セミナーの開催

シンポジウムテーマ 「宇宙とエネルギーと材料の出会い」

主催	財団法人 内藤泰春科学技術振興財団、社団法人 未踏科学技術協会 傾斜機能材料研究会
共催	独立行政法人 科学技術振興機構、財団法人 航空宇宙技術振興財団
後援	独立行政法人 宇宙航空研究開発機構
開催日	平成21年2月26日(木) 13:00~17:00
会場	独立行政法人 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 大会議室
参加者	約55名
開催概要	開会挨拶 鈴木幸壽理事長 基調講演 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構 木皿且人主任研究員 ほか パネル討論 パネリストとして当財団より大森豊明評議員、狼嘉彰選考 委員が出席

(2) ホームページにより、以下の内容について情報公開を行った。

内容	・ 寄附行為	・ これまでの助成事業の概要
	・ 設立の趣旨	・ 平成19年度事業報告書
	・ 概要	・ 第8期 財務諸表
	・ 役員・評議員名簿	・ 平成20年度事業計画書
	・ 顕彰事業の推薦募集	・ 同 収支予算書
	・ 助成事業の申請募集	

アクセス累計数 42,870件(平成21年5月18日現在)

直近1年間のアクセス数 約9,000件

6. 理事会等の開催

平成20年度中に開催された会議は次の通りである。

(1) 理事会

平成20年度第17回理事会

日時：平成20年6月16日(月) 12:00~13:30

場所：海運クラブ 会議室(千代田区平河町)

審議事項：
・平成19年度 事業報告書(案)に関する件
・第8期 財務諸表(案)に関する件
・退職金規程(案)に関する件

平成20年度第18回理事会

日時：平成21年3月23日(月) 12:00~13:30

場所：海運クラブ 会議室(千代田区平河町)

- 審議事項：
- ・平成21年度事業計画書（案）に関する件
 - ・平成21年度収支予算書（案）に関する件
 - ・平成21年度助成事業対象者及び平成20年度内藤泰春記念賞対象者の決定に関する件
 - ・評議員の選任に関する件
 - ・理事長及び専務理事の選任に関する件
 - ・役員給与に関する件
 - ・企画委員会委員の選出に関する件
 - ・選考委員会委員の選出に関する件
 - ・公益法人検討委員会の選出に関する件

（2） 評議員会

平成20年度第17回評議員会

日時： 平成20年6月16日（月）13：30～14：00

場所： 海運クラブ 会議室（千代田区平河町）

- 審議事項：
- ・平成18年度 事業報告書（案）に関する件
 - ・第8期 財務諸表（案）に関する件
 - ・退職金規程（案）に関する件

平成20年度第18回評議員会

日時： 平成21年3月23日（月）13：30～14：00

場所： 海運クラブ 会議室（千代田区平河町）

- 審議事項：
- ・平成21年度事業計画書（案）に関する件
 - ・平成21年度収支予算書（案）に関する件
 - ・平成21年度助成事業対象者及び平成19年度内藤泰春記念賞対象者の決定に関する件
 - ・理事及び監事の選任に関する件
 - ・役員給与に関する件
 - ・企画委員会委員の選出に関する件
 - ・選考委員会委員の選出に関する件
 - ・公益法人検討委員会の選出に関する件

（3） 公益法人検討委員会

第2回公益法人検討委員会

日時： 平成20年6月16日（月） 14：00～15：00

場所： 海運クラブ 会議室（千代田区平河町）

- 議題：
- ・現状と今後の課題について

(4) 選考委員会

在宅審査

期 間 : 平成20年11月17日~平成21年1月16日

・在宅審査及び評価シートの作成

第12回選考委員会

日 時 : 平成21年2月12日(木) 12:00~14:00

場 所 : 海運クラブ 会議室(千代田区平河町)

議 題 : ・評価シートの集計について

・評価結果に基づく課題の選定審査

・課題選定後のスケジュールについて

以 上